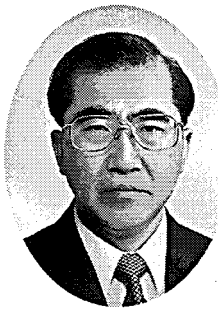


## 変革の時代にあって

岐阜県博物館協会副会長

岐阜県博物館長

高橋宏之



文部科学省の「IT普及国民運動に係わる施策」に沿って、各地でIT基礎技能講習が始まりました。県博物館でもそうですが、受講希望者が定員をはるかにオーバーするところも多いと聞きます。

また、6月26日付の新聞報道によれば、恵那市教育委員会企画の「やまとなでしこ養成講座」が受付開始後わずか20分で満員になったとのことでもあります。前者は科学技術の進歩にともなうもの、後者は伝統的なものの習得ということですが、いずれも生涯学習社会の高まりを反映したものと思われまます。

一方、小・中・高校では来年度から週五日制が実施されます。土・日曜日を有効に過ごしたり、生涯にわたる学習のきっかけづくりの場として、社会教育施設や文化施設に対する期待や要望が今まで以上に高まることは必至の状況にあります。さらに学校における教科「総合的学習の時間」の実施や最近話題になりつつあるミュージアムスクール（博物館や美術館等での学習活動を教育計画の中に位置付けて実施する）の動き等を視野に入れると、博物館の果たす役割はますます重要になってきていると強く感じます。

6月27日、日本博物館協会は昨年度末の「博物館の望ましいあり方」調査研究委員会の報告を受けて、今年度は次の3項目について調査研究を実施する旨、全国博物館館長会議の席上、説明がありました。要点を紹介しますと、

1. 「対話と連携」推進委員会の設置と推進方策の調査研究

昨年度の「博物館の望ましいあり方」の報告書中の提言の具体化・推進のために委員会を設置し、博物館登録のあり方、共同企画等の推進方策について調査研究する。

2. 博物館運営の活性化・効率化に資する評価のあり方に関する調査研究

評価に関する「入館者の満足度を高める展示状況」「学校等関係機関と連携した教育普及活動の状況」等5項目について調査し、資料を収集。併せて博物館活動の評価のあり方について研究を深めるとともに、評価の必要性等についての理解を促進するため、シンポジウムを開催する。

3. 学習素材の集積とインターネットを通じた情報提供及びモデル遠隔事業の実施

博物館と学校の連携、子供向け企画の開発促進のため、博物館において進められている関係事業及び学習素材に関する情報を集積してデータベース化し、インターネットを通じて情報発信するとともに、学校にとって利用し易い情報の内容及び形式について調査研究する。また、インターネットを通じて、博物館のコレクション・展示を活用したモデル遠隔事業を実施する。

これらのことから、生涯学習社会の進展や市民のニーズの多様化、教育等の改革が進められる変革の時代にあって、博物館にとって大切なことは、積極的に外に向かって行動を起こすことであり、それが「対話」や「連携」であったり、「情報発信」であったり、「評価を求めること」であるということではないかと思えます。

平成13年度東海地区博物館協議会総会

## 「日本博物館協会東海支部総会に出席して」

日時：平成13年6月7日（木）～8日（金）

会場：高山市民文化会館

参加：81名



高山市民文化会館において、静岡、愛知、山梨、神奈川、岐阜の5県から81名（本県からは43名）の会員が参加して行われました。

（協議会副会長挨拶）

副会長である岐阜県博物館長の高橋宏之氏から、21世紀にふさわしい「望ましい博物館」とは「対話と連携」を運営の基礎に据え、市民とともに新しい価値を創造する博物館であり、生涯学習社会を迎えて、博物館を訪れる人々の職業、年齢、階層も拡大しているので、社会の多様なニーズへの対応が求められていると強調されました。

（来賓祝辞）

日本博物館協会専務理事の五十嵐耕一氏は博物館をめぐる全国的な動向について次のように話されました。

本年4月1日に、国立博物館、美術館8館が独立行政法人になり、文部科学省にそれらの業務計画を審査し、執行状況をチェックする評価委員会が設置された。

日本博物館協会では、「対話と連携の博物館」の推進委員会を設け、その具体化に取り組んでいる。また、博物館の子供向けプログラムの推進や学校との連携が一層求められているので、学習支援の全国的な状況を調査し、その結果をホームページに掲載している。

岐阜県教育委員会教育次長関勝美氏から、博物館は独立行政法人化や情報通信技術の革新、総合的学習の時間の導入に直面しており、こ

のような変革の時代には一層の連携が必要であるとの話がありました。

高山市教育委員会森瀬一幸氏から、市内の博物館でも、入館者が全般的に減少しているが、数館では特色のある運営により入館者が増加しており、博物館に特色が求められているとの示唆に富んだ話がありました。

（講演）

高山市郷土館名誉館長・三重大学名誉教授八賀晋氏は「古代飛驒文化の特質」と題して次のように話されました。



飛驒の地は全国的に見ても、ユニークで特徴的な地域であり、その起源は古代に求めるのが妥当である。

律令制のもとで、飛驒は特殊な地位にあり、庸・調の免除の代わりに木工が徴発された。

しかし、古文書では、過酷な労働や飛驒工の逃亡に関する悲惨な記事が目立ち、飛驒の匠の経緯は明確ではない。飛驒の匠の真の姿を解く鍵はもっと前の時代にある。

飛驒の古墳は飛驒の特殊性の片鱗を窺わせる。7世紀に築造された「こう峠口古墳」の石室は美濃にも東海地方にもない大きさであり、飛驒の古代寺院も数の多さと進んだ建築技術が特徴的である。

これらのことから飛驒の地が律令政府と密接な交流のもとにあったことや飛驒の匠の力量と地位の高さがわかる。

（岐阜県博物館協会事務局 安田昌治）

## 第49回岐阜県博物館協会会員研修会報告

### 「市民ミュージアムができるまで／新しい博物館における教育普及活動」

期日：平成13年6月12日（火）  
場所：美濃加茂市民ミュージアム  
講師：可児 光生 氏 / 古田 哲也 氏  
参加：18名

今回は、昨年秋に開館したばかりの美濃加茂市民ミュージアムにおいて、以下の研修を行いました。

研修1：「市民ミュージアムができるまで」

講師：美濃加茂市民ミュージアム学芸係長  
可児 光生 氏

研修2：「新しい博物館における普及活動」

講師：美濃加茂市民ミュージアム学習係長  
古田 哲也 氏

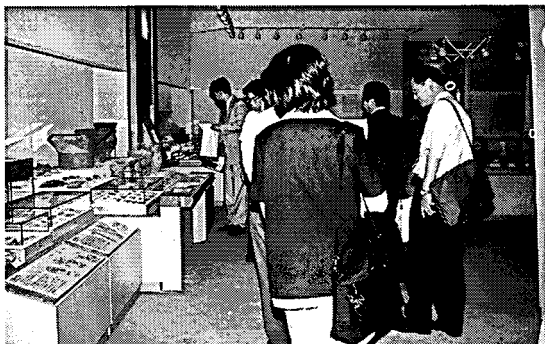
研修3：みのかも文化の森施設・美濃加茂市民ミュージアム見学



「みのかも文化の森」は、美濃加茂市民ミュージアムと教育センターの本館の他、生活体験館、民具展示館などの多くの施設と約9ヘクタールに及ぶ広大な森からなります。

この「森」は、自然との共有、学校教育との連携、市民参加、地域作りの4つのコンセプトをもって計画的に推進されてきました。

研修1では、この市民ミュージアムの準備段階からの設立までの流れと、市民ミュージアムの特徴について話を伺いました。学校教育との連携を考慮した設備、最初から大きめ



ミュージアム常設展示室にて

に設定され収蔵庫、展示替えを見越した展示作成、触れる資料作成などさまざまな工夫がされています。また、館の運営に多くのボランティアの方々が参加されていることなど、大変参考になる事例を伺うことができました。

研修2では、学校との連携について、具体的実践例を含めて話を伺いました。この館の特徴の一つに「森バス」という館所有のバスがあり、学校との往復に活用されています。また、学校給食を食べる設備も完備されています。展示・設備はもちろん、これらを有効に生かして、総合的な学習などの授業に活用されています。これらの実績は「学校活用実践集」としてまとめられていました。

その後、市民ミュージアム本館を含め多くの施設を、具体的な活用方法をふまえながら詳しくご紹介いただきました。

数日前に博物館協会東海支部総会が高山で実施されたばかり、ということもあり、参加者はやや少なかつたものの、熱心な発表と質問が行われ、学ぶべきことの多い研修会となりました。また、岐阜大学の学生がオブザーバーとして参加しました。この学生は学校教育と博物館の連携に関して卒業論文を作成しています。博物館と学校の連携については、新学習指導要領にも取り上げられているところですが、このような面からもこれからの博物館の在り方を考える上で有意義な研修会となりました。



収蔵庫1

(岐阜県博物館協会研修委員長 石田 克)

## 会員各館のおもな企画展一覧（平成13年度8～12月分）

施設名 電話番号	企画展名	開催期間	休館日
岐阜県美術館 ☎058-271-1313	ジョージ・シーガル展 アメリカン・シーン 現代の人間を見つめて	8/2～9/2	毎月曜日 *1
	くもん子ども研究所 コレクション 浮世絵の子どもたち	9/14～ 10/14	
	想像の森へいらっしやい ーリラクゼーションと しての19世紀西洋版画ー	10/25～ 12/16	
岐阜県 歴史資料館 ☎058-263-6678	人間愛の刑法学者 牧野英一	12/4～ 12/18	休日の翌日
岐阜市科学館 ☎058-272-1333	ふしぎロボット&びっくり おもちゃ 夢と遊びのワンダーランド	7/28～9/2	毎月曜日
岐阜市 歴史博物館 ☎058-265-0010	日本のうちわ ー涼と美の歴史ー	7/31～8/26	毎月曜日 *1
	シルクロード・砂漠の大画廊 敦煌美術展	9/8～10/8	
	刀剣・美濃派 ー赤羽刀を中心にしてー	10/26～ 11/25	
かかみがはら 航空宇宙博物館 ☎0583-86-8500	スペースあそベンチャー	7/20～9/2	8/21、28
岐阜町歴史 民俗資料館 ☎058-247-7737	めずらしい鉱物	8/3～8/30	毎月曜日
	むかしの台所用品	10/21～11/20	祝日 月最後の 金曜日
	耕と秤	12/14～1/25	
内藤記念 くすり博物館 ☎058689-2101	はやり病の文化誌	4/25～ 11/25	毎月曜日
関ヶ原町歴史 民俗資料館 ☎0584-43-2665	関ヶ原合戦と火縄銃	～11/4	毎月曜日 祝日の翌日
揖斐川町歴史 民俗資料館 ☎0585-22-5373	禅画と高僧の遺墨展	10/2～10/30	毎月曜日
	農民の信仰と近世寺院 の役割展	11/3～ 11/25	
海津町歴史 民俗資料館 ☎0584-53-3232	古文書にみる郷土の由来	8/1～8/31	毎月曜日
	競馬翁 安田伊左衛門展	10/30～ 11/25	
タルイピア センター ☎0584-23-3746	夏の涼	7/14～9/9	毎月曜日 7/20、26 8/30
岐阜県博物館 ☎0575-28-3111	あのころいた鳥 ～そういえばトキも おったげな～	7/20～9/16	毎月曜日 *1
	七代目団十郎と国貞、国芳 ～芝居、錦絵、中山道～	9/30～11/4	
荘川の里資料館 ☎05769-2-2681	手取層群の化石展	8/1～8/26	無休
日本土鈴館 ☎0575-82-5090	奥長良河童村 河童まつり	7/20～ 10/31	無休
	全国干支展（馬）	11/3～2/28	
サイエンス ワールド ☎0572-66-1151	夏休み企画① 水のサイエンス	7/20～8/10	毎月曜日
	夏休み企画② プラスチックの不思議	8/11～8/31	
瑞浪市 化石博物館 ☎0572-68-7710	瑞浪化石百科事典	6/17～9/2	毎月曜日
	日本の化石シリーズ6 「北陸の化石」	10/7～12/2	毎月曜日 10/9、10 10/31 11/6、30
瑞浪陶磁 資料館 ☎0572-67-2506	The Kagemasa. 桃山に 迫った男 林景正	7/1～9/30	毎月曜日
	美濃の香炉	10/6～12/9	
可児郷土 歴史館 ☎0574-64-0211	志野の里発見70年 「荒川豊蔵～ 作品と愛蔵品」	9/7～11/4	毎月曜日 祝日の翌日
中津川市 鉱物博物館 ☎0573-67-2110	恐竜時代の巨大火砕流 「濃飛流紋岩」	7/29～ 11/11	毎月曜日 *1
美濃加茂市民 ミュージアム ☎0574-28-1110	「文字の登場、そして 広まり ～古代中世の人と文字 をめぐって～」展	9/22～ 10/28	毎月曜日 9/25、 10/23
	「クワガタ・カブトム シ見つけた！」展	7/20～9/2	毎月曜日 7/24 8/28
名鉄資料館 ☎0574-61-0831	パノラマカーデビュー 40周年記念 「なつかしの 名鉄特急展」	6/1～8/31	土日祝日 (7/1、8/5 は開館)
ミュージアム 中仙道 ☎0572-68-0505	特別企画展 隈取	7/28～9/24	毎火曜日
	酒瓶展	12/1～12/22	
こども陶器 博物館 ☎0572-27-8038	藤子・F・不二雄 ドラえもん原画展	7/20～9/16	毎月曜日 第3火曜日
	さとうわきこ絵本原画展	9/29～11/25	
高山市郷土館 ☎0577-32-1205	高山町人の生活 ー四季のうつろい、 職人道具を中心にー	10/19～ 11/11	11/5（月）
光記念館 ☎0577-34-6511	光悦・仁清・乾山と 伝統の美	3/12～9/2	毎月曜日
	歌川広重・ 東海道五十三次展	9/11～ 12/24	
飛騨高山 美術館 ☎0577-35-3535	星野富弘・花の詩画展	10/7～ 10/16	無休

\*1：月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日